



平成 25 年 12 月 11 日

一般社団法人 日本免疫治療学研究会
理事長 安元公正

がん免疫細胞療法に関係する 6 団体が合同で作成した
「免疫細胞療法 細胞培養ガイドライン」を公表いたしました。

本年 4 月の「再生医療推進法」の成立、11 月の「再生医療等の安全性の確保に関する法律案」及び「薬事法の一部を改正する法律案」の成立など、日本における再生・細胞医療を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中、本日、患者自己の免疫細胞を用いるがん免疫細胞療法（以下、「患者自己免疫細胞療法」）に関係する 6 団体（日本免疫学会、日本がん免疫学会、日本バイオセラピー学会、がん免疫外科研究会、血液疾患免疫療法研究会、日本免疫治療学研究会：団体名順不同）は、6 団体が合同で作成した「免疫細胞療法 細胞培養ガイドライン」を公表するとともに、厚生労働省に提出しました。

今回公表した「免疫細胞療法 細胞培養ガイドライン」は、再生・細胞医療を取り巻く環境変化を踏まえ、再生・細胞医療の一つである患者自己免疫細胞療法に関係する 6 団体が、平成 24 年 2 月に合同で「細胞培養ガイドライン作成委員会」を立ち上げ、患者自己免疫細胞療法に供する免疫細胞の加工に関わる安全対策としての構造設備要件及び加工及び品質管理要件について検討を重ねて策定したものです。

（「免疫細胞療法 細胞培養ガイドライン」はこちらをご参照ください）

http://jrai.gr.jp/images/topics/jrai_guidelines_20131211.pdf

日本免疫治療学研究会は、免疫細胞治療の信頼性を高めるための有効性の検証等に関するガイドラインについても策定に着手しており、関連するガイドライン等の策定を通じて、患者自己免疫細胞療法が健全な発展を遂げ、がんに対する真に有効な治療法として社会に提供されることに貢献する所存です。



（左写真）

厚生労働省 医政局研究開発振興課の 堀 再生医療研究推進室長へ「細胞培養ガイドライン」を提出する
木村委員長

本件に関するお問い合わせは、下記メールアドレスにお願いいたします。

E-mail: info@jrai.gr.jp



免疫細胞療法 細胞培養ガイドライン初版作成委員会

委員長	木村 秀樹	千葉県済生会習志野病院呼吸器外科
委員	池田 裕明	三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学講座 准教授
	岡 正朗	山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授
	鈴木 弘行	福島県立医科大学 呼吸器外科/臓器再生外科学講座 教授
	谷 憲三朗	九州大学生体防御医学研究所 ゲノム病態学研究分野 教授
	徳久 剛史	千葉大学大学院医学研究院分化制御学教室 教授
	中面 哲也	国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 免疫療法開発分野長
	森尾 友宏	東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・発生発達病態学分野 准教授
	山口 佳之	川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科 教授
アドバイザー	阿曾沼 元博	順天堂大学 客員教授
	河上 裕	慶應義塾大学大学院医学研究科生理系専攻先端医科学 教授
	紀ノ岡 正博	大阪大学 大学院工学研究科 生命先端工学専攻 生物プロセスシステム工学領域 教授
	澤 芳樹	大阪大学 大学院医学系研究科 心臓血管外科学 教授
	清水則夫	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 フロンティア研究室 ウイルス治療学 准教授

(氏名は五十音順 敬称略)